2024年6月2日

ゼミナールご担当教員 殿

ゼミナール代表者　　 殿

証券研究関西学生連盟

委員長　丸亀 昌平

（関西学院大学）

**2024年度「春季セミナー大会」最終案内**

拝啓　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、証券研究関西学生連盟の活動に格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

　この度は、「春季セミナー大会」にお申込みいただき、誠にありがとうございます。ルール詳細ならびに対戦表等が決定いたしましたので、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、当日６月８日は関西大学千里山キャンパス第２学舎４号館F棟401まで直接お越しください。教室内にて受付を行います。受付は9：00～9：30までにお済ませください。

　また、大会当日は通常通り授業を行っている教室もございますので、教室外での私語はお控えいただきますようご協力をお願いいたします。

**会場略図**

〒564-8680　大阪府吹田市山手町３丁目３番35号　関西大学千里山キャンパス

＜千里山キャンパスアクセス＞

大阪（梅田）からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車　徒歩５分。または京都線「京都河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅にて「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

地下鉄利用のアクセス

地下鉄堺筋線から阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅下車。

＜キャンパス内会場アクセス＞

開会式・閉会式 会場：第２学舎４号館F401（下記マップ ２-４）

試合会場：第２学舎２号館（下記マップ ２-２）

**※ 車でのご来場はご遠慮ください。**

マップ

自動的に生成された説明

**１．ルール**

(1) 討論テーマ「東証グロース市場の上場基準・上場維持基準を引き上げるべきか」（別添参照）について相手チームとの間で公開討論（ディベート）を行う。なお、１チーム当りの試合（討論）回数は2試合とする。ただし、各チームは「肯定」もしくは「否定」のどちらかの立場のみとるものとする（肯定・否定の双方の立場で１試合ずつ行うことはない）。

(2) １チームの参加人数は３～６名までとする。

(3) 論点を整理した配布資料（片面印刷のみ：A4版２枚、またはA3版１枚）を試合数×10部（指導講師・司会・相手チーム用）用意して当日に持参すること。なお、配布資料の内容も評価基準に加える。

(4) グラフやデータ等を使用する場合は出所を明らかにすること。

(5) 挙手制で司会が指名した者が発言をする方式を取る。

(6) 討論の時間は１討論につき約50分とする。

（時間配分）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 立論 | 6分 | （肯定側3分、否定側3分） |
| 作戦タイム | 2分 |  |
| フリーディスカッション | 15分 | （否定側→肯定側）[[1]](#footnote-1) |
| 作戦タイム | 2分 |  |
| フリーディスカッション | 15分 | （肯定側→否定側）[[2]](#footnote-2) |
| 作戦タイム | 2分 |  |
| 最終弁論 | 6分 | （否定側3分、肯定側3分） |

※上記の表は参考。時間配分は変動することがある。

(7) 立論・最終弁論は原則1人で行うものとし、制限時間を超過しても打ち切らないものとする。フリーディスカッション中の質問は終了1分前までに発言を開始したものを有効とし、最後の質問に対する回答が終わり次第終了とする。

(8) 最終弁論においては、立論・フリーディスカッション内で提示しなかった資料の使用や、新たな提案・主張等を行うことは認めない。

(9) 指導講師および司会は、ディベート採点表に基づき各チームの討論の評価を行う。指導講師・司会の採点表を集計し、各ブロックの優秀チームを決定する。配点比率は、指導講師：司会＝２：１とする。

(10) 各ブロックの優秀チームを表彰し、記念品を贈呈する。

**《減点要素》**

＊立論・最終弁論に関して、2分45秒～3分15秒に収まらなかった場合（15秒以上の時間超過もしくは時間不足の場合）

＊立論に関して、明らかに原稿を朗読していると判断される場合（最終弁論は対象外とする）

※持ち込み資料は紙媒体のみとし、パソコン、スマートフォン、電子ウェアラブル端末等の電子機器の持ち込みは禁止とします。

※大会に参加される学生は、自らが出場していない試合（討論）を観戦することは出来ません。ご了承ください。

※なお、ルールに関してご質問等ございましたら、問い合わせ先にEmailでご連絡をお願いいたします。

**２．対戦表・タイムスケジュール**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 9：30～10：00 | 開会式 | | | | | |
| 10：00～10：15 | 移動・試合準備 | | | | | |
| ブロック  （教室） | **A（C501）** | **B（C502）** | **C（C503）** | **D（C601）** | **E（C602）** | **F（C603）** |
| 指導講師  （敬称略） | 播磨谷 | 岡村 | 阿萬 | 大塚 | 南波 | 田村 |
| ＜第1試合＞  10：15～11：05 | 秋吉ゼミ  松崎班 | 阿萬ゼミ  三上班 | 秋吉ゼミ  福地班 | 田村ゼミ  大塚班 | 阿萬ゼミ  沖野班 | 岡村ゼミ  田尻班 |
| 阿萬ゼミ  河村班 | 秋吉ゼミ  石嵜班 | 宮川ゼミ  山本班 | 秋吉ゼミ  山形班 | 岡村ゼミ  西田班 | 秋吉ゼミ  金城班 |
| ＜第2試合＞  11：20～12：10 | 宮川ゼミ  丹羽班 | 宮川ゼミ  小島班 | 岡村ゼミ  中田班 | 阿萬ゼミ  雜賀班 | 秋吉ゼミ  長田班 | 播磨谷ゼミ  梅森班 |
| 大塚ゼミ  渡辺班 | 田村ゼミ  小池班 | 播磨谷ゼミ  岡田班 | 岡村ゼミ  田中班 | 播磨谷ゼミ  永田班 | 阿萬ゼミ  曽我班 |
| 12：15～13：15 | 昼食・休憩 | | | | | |
| ＜第3試合＞  13：20～14：10 | 宮川ゼミ  丹羽班 | 宮川ゼミ  小島班 | 岡村ゼミ  中田班 | 田村ゼミ  大塚班 | 阿萬ゼミ  沖野班 | 岡村ゼミ  田尻班 |
| 阿萬ゼミ  河村班 | 秋吉ゼミ  石嵜班 | 宮川ゼミ  山本班 | 岡村ゼミ  田中班 | 播磨谷ゼミ  永田班 | 阿萬ゼミ  曽我班 |
| ＜第4試合＞  14：25～15：15 | 秋吉ゼミ  松崎班 | 阿萬ゼミ  三上班 | 秋吉ゼミ  福地班 | 阿萬ゼミ  雜賀班 | 秋吉ゼミ  長田班 | 播磨谷ゼミ  梅森班 |
| 大塚ゼミ  渡辺班 | 田村ゼミ  小池班 | 播磨谷ゼミ  岡田班 | 秋吉ゼミ  山形班 | 岡村ゼミ  西田班 | 秋吉ゼミ  金城班 |
| 15：30～15：45 | 会場復元 | | | | | |
| 15：45～16：15 | 集計・アンケート記入 | | | | | |
| 16：15～17：00 | 閉会式 | | | | | |

※色がついている箇所に書かれているチームが肯定、白い箇所に書かれているチームが否定です。

※指導講師の先生のご都合により変動する場合があります。

別添

|  |
| --- |
| 【討論テーマ（命題）】  **東証グロース市場の上場基準・上場維持基準を引き上げるべきか**  2022年、東京証券取引所（以下、東証）では市場再編がなされた。しかし、「高い成長可能性を有する企業向けの」グロース市場では上場後の成長性に乏しい企業が多く、低迷が続く。専門家からは、上場が企業の創業者や株主であるベンチャーキャピタル（VC）が利益を得る為だけの場となる「上場ゴール」への批判や規模の小さい企業が乱立することで機関投資家の投資対象になりにくく、新たな成長を加速しづらいことも言われている。こうした現状を踏まえ、東証の専門家会議では、グロース市場で上場基準・上場維持基準を引き上げる検討がされている。一方で上場基準の引き上げは上場へのハードルを上げ、スタートアップ企業の資金調達が難しくなるという指摘もある。そこで本討論では、グロース市場の上場基準・上場維持基準の引き上げが、グロース市場の低迷の解決に本当に効果があるのかについて議論してほしい。  肯定側：前提条件に従い、上場基準・上場維持基準を引き上げるべき。  否定側：肯定側の提案を棄却し、上場基準・上場維持基準は現状を維持すべき。  前提条件   * 上場基準の流通株式時価総額について、現在の「５億円以上」から「20億円以上」に変更する。 * 上場維持基準について「上場10年後に時価総額が40億円以上」を「上場10年後に時価総額100億円以上かつPBR１倍以上」に変更する。 * 上記基準の変更適用時期は2027年４月からとする。 * スタートアップの資金調達については、2022年7月から導入された制度である「特定投資家向け銘柄制度（J-Ships）」を活用する。   主要論点   * グロース市場の上場基準・上場維持基準の引き上げが、グロース市場の低迷の解決に効果があるのか？ * 「特定投資家向け銘柄制度（J-Ships）」を始めとしたスタートアップ企業の資金調達の仕組みは機能するのか？   留意点   * スタンダード市場の上場基準については今回のディベートでは対象外とする。 * ただ、スタンダード市場の上場基準はグロース市場と逆転しない形で適宜修正されるものとする。 * なお、本セミナー大会は、ディベートを題材とした金融の勉強の場であることを念頭に置いて取り組んでほしい。 |

1. 否定側から肯定側へ質問等を投げかけ、肯定側が回答する。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 肯定側から否定側へ質問等を投げかけ、否定側が回答する。 [↑](#footnote-ref-2)